

学校名	桶川市立桶川西中学校
所在地	桶川市大字川田谷3680-1
電話	048-787-1342

1 本校の概要

「志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」を教育目標とし、「きれいな環境の中で豊かな心と豊かな学びがある学校」を目指す学校像としている。昭和50年に開校された歴史と、自然豊かな環境の中で、自主性や基本的学力、感性、健やかな心と身体を持つ生徒の育成に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係わる取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・その他（図書委員会活動の取組）

(2) 実践の概要

学校の日課や校務分掌としての実践と、生徒たちの実践に分かれる。前者は毎日の朝読書の実施や学校図書館の開館で、後者は主に委員会活動である。

ア 朝読書の実施

本校では、毎日8:25～8:35までを朝読書の時間とし、全校一斉に読書を行っている。本は、生徒が各自で用意する。学校図書館の本を借りて読む生徒も多い。

イ リクエスト本の積極的な購入

教員や生徒からのリクエストを受け、図書を購入している。購入図書は、新刊本としてカウンター下など目立つ場所へ配架した。

また、スポーツ関連の雑誌類も禁出本として定期的に購入している他、古くなり、借りられなくなった図書を、各クラスに学級文庫として貸し出しを実施し、読書環境の向上を図った。



ウ 図書委員会活動の活性化

本校の図書委員会では、様々なことを企画・運営し、読書環境の向上に努めている。例えば、「シーズンプロジェクト」では季節に応じた図書を特別に配架したり、図書委員からの推薦本を配架したりしている。また、「栞コンテスト」では、栞のデザインを募集し、栞を作成した。その栞は、図書を借りた生徒に配布している。他にも朝読書がしっかりと行われているかのチェックも、期間を設定し実施している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 朝読書が習慣として確立され、大半の生徒が熱心に朝読書に取り組んでいる。
- イ 「読書が好き」とあるとアンケートに答える生徒の割合が非常に高くなった。
- ウ 学校図書館に利用者が増加傾向である。

・「朝読書チェック（1週間）」で、読書をしていなかった延べ人数

○2013 82人 → ○2014 57人

・「読書が好きですか」という質問に、「好き」「やや好き」と答えた生徒の割合の変化

○2013 78% → ○2014 82%

・総貸出カード数（貸出利用者数※12月末）

○2013 234人 → ○2014 265人

・貸出総数（12月末）

○2013 2787冊 → ○2014 3015冊

(2) 課題

- ア 利用者を増やすこと。
- イ 授業における学校図書館の活用。または授業で活用できる図書館への改善。
- ウ 新刊図書のより活発なPR活動。

(3) おわりに

今後も、様々な活動を取り入れ、学校図書館や生徒たちの読書環境の改善・向上に努めたい。